

4-3 鳥類調査

相調査

事業実施区域及びその周辺において多様な環境が含まれるように調査地点を陸域 2 地点、河川域 4 地点設定します。設定された地点において、ラインセンサス調査及び定点観察調査を実施します。

調査項目・方法（鳥類）

調査項目	調査方法
ラインセンサス	・徒歩により調査ラインを踏査し、出現する鳥類の姿及び鳴き声により種を同定し、個体数・確認の種類等を記録する。踏査ラインは森林性・草原性等の環境区分が含まれるように選定する。観察範囲は調査ラインの片側 25m を目安とするが、見通しが良い箇所に関しては適宜広げて観察を行う。
定点調査	・調査定点にとどまり、双眼鏡または望遠鏡を用いて観察を行い出現する鳥類の記録を行う。観察範囲は、広域に観察できるようにラインセンサス調査地沿いに 1～数箇所の調査定点を設置する。ラインセンサス調査に併せて行う。
夜間定点調査	・調査定点にとどまり、夜間性鳥類の鳴声の聞き取りによる観察を行い出現する鳥類の記録を行う。観察範囲は、定点調査と同じく、ラインセンサス調査地沿いに 1～数箇所の調査定点を設置する。

重要種調査

これまで確認された重要種を主な対象とし、各環境区分内における任意踏査により生息状況の確認を行います。重要種が確認された場合には、種、個体数、確認方法（個体確認、鳴声）、性齢、確認位置等や繁殖行動等について記録します。特に営巣地の情報に関しては留意することとします。

記録する項目は以下の通りです。

- ・確認年月日
- ・確認地点の位置
- ・種名
- ・確認方法
- ・確認個体数
- ・確認地点の環境（地形、植生等）

既往の現地調査における重要種は、以下に示す 6 種です。

（猛禽類に関しては、猛禽類調査において調査しているため、除いています。）

現在までに確認されている重要種（鳥類）

科名	種名	H14	H15	文化財 保護法	種 の 保存法	環 RDB 2002	北 RDB 2001
カモ	オシドリ						希少種
ライチョウ	エゾライチョウ					情報不足	希少種
シギ	オオジシギ					準絶滅危惧	希少種
ヨタカ	ヨタカ						希少種
キツツキ	クマガラ			天然記念物		絶滅危惧 II 類	絶滅危急種
	オオアカガラ						留意種
5 科 6 種							

確認された種は「 」で示した。

4.平成 16 年度平取ダム環境調査について

猛禽類調査

事業実施区域及びその周辺の範囲において、これまで確認された希少猛禽類のつがいを対象として、行動圏調査、繁殖確認調査を実施します。

調査項目・方法（鳥類(猛禽類)）

調査対象	調査項目	調査方法
猛禽類	行動圏調査	・望遠鏡、双眼鏡により、調査範囲内に出現する猛禽類の飛翔等の行動観察を行い、確認の位置・種類を図面及び野帳に記録する。定点は基本的に各月 5～7 地点を設置し、定点間での確認状況は随時無線で連絡を取り合い、観察視野を補完しながら行う。
	繁殖状況等確認調査	・調査範囲内で確認された希少猛禽類について、繁殖サイクルに応じて、営巣地の利用状況、繁殖状況等の把握を行う。調査は移動観察により実施する。平成 16 年度調査項目は、繁殖状況確認調査、営巣木周辺食痕確認調査とします。

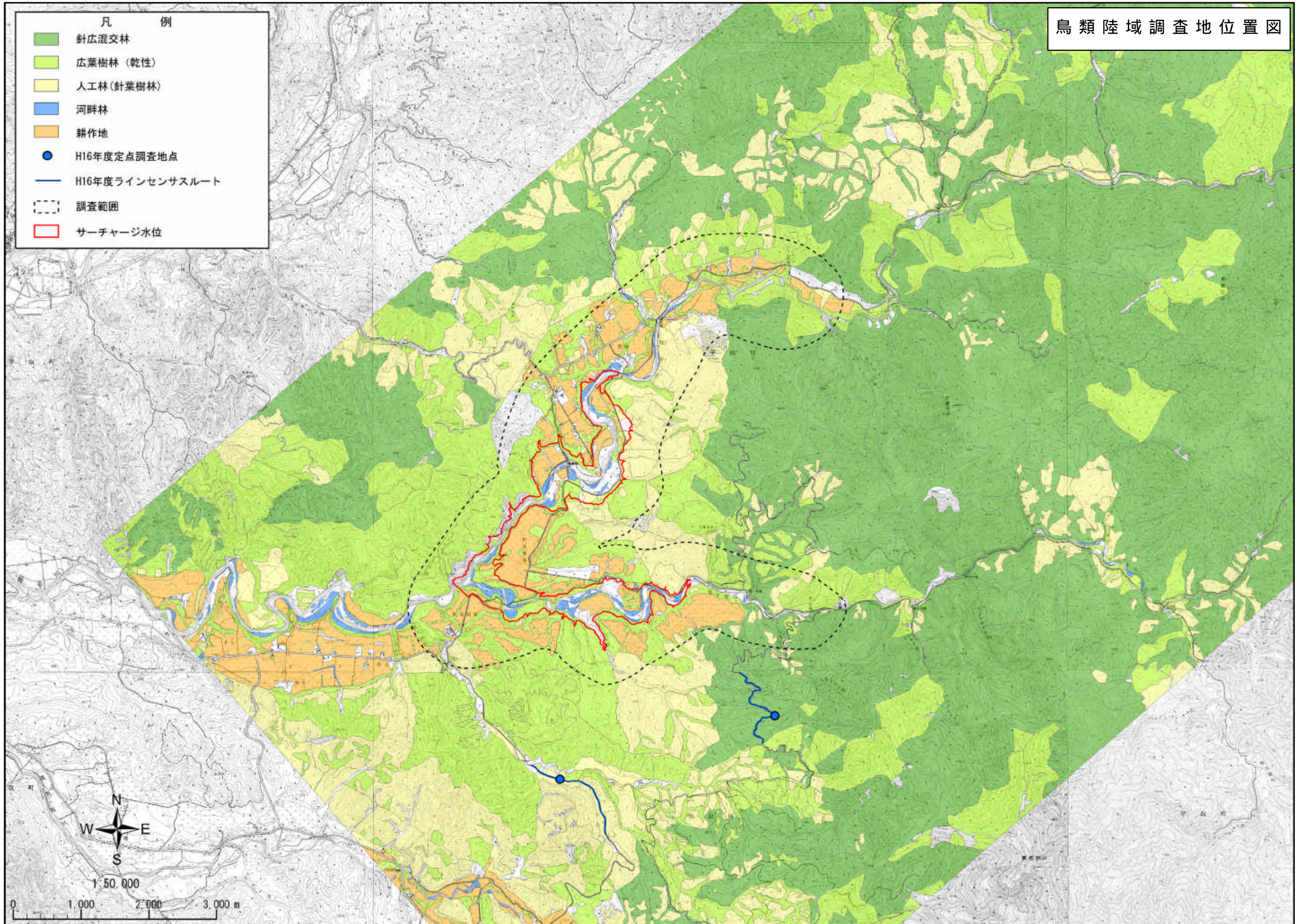
これまでに確認されている希少猛禽類のつがいは、以下の表に示す 4 種です。

科名	種名	文化財保護法	種の保存法	環境省 RDB 2002	北海道 RDB 2001
タカ	オオタカ		国内希少 野生動植物	絶滅危惧 II 類	絶滅危急種
	ハイタカ			準絶滅危惧	絶滅危急種
	クマタカ		国内希少野生 動植物	絶滅危惧 IB 類	絶滅危惧種
ハヤブサ	ハヤブサ		国内希少野生 動植物	絶滅危惧 II 類	絶滅危急種
2 科 4 種					

上記の対象種に関して、以下の内容についての記録を行います。

- ・ 確認年月日
- ・ 確認地点の位置と周辺環境
- ・ 種名
- ・ 確認方法
- ・ 繁殖状況
- ・ 飛翔記録（行動内容も含む）

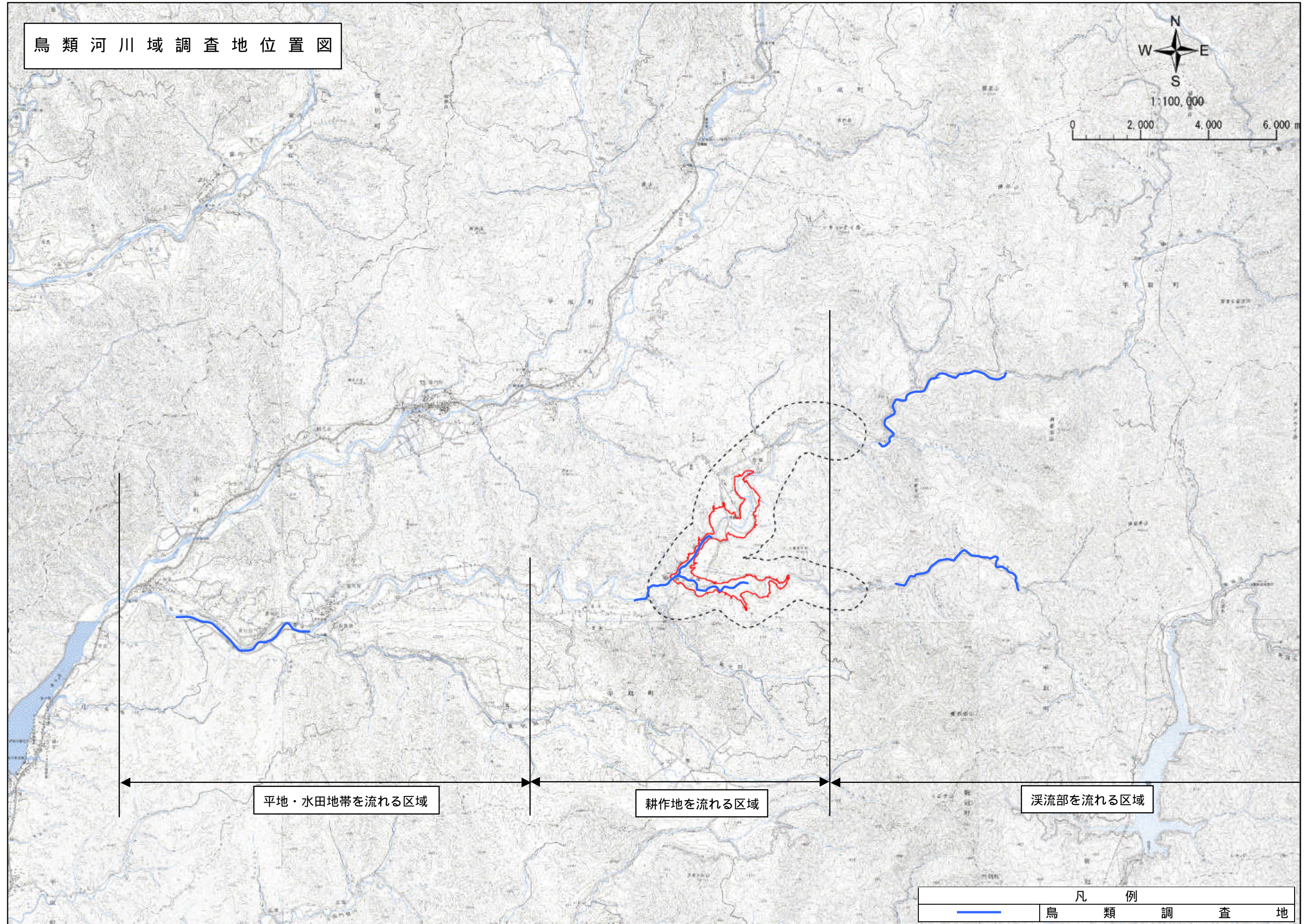
鳥類陸域調査地位置図



鳥類河川域調査地位置図



1:100,000



平地・水田地帯を流れる区域

耕作地を流れる区域

渓流部を流れる区域

凡 例	
	鳥 類 調 査 地